

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

1 ■事務事業の概要

1 - 1 事務事業の名称	狂犬病対策予防接種事業									
1 - 2 担当	部	市民部	課 又は施設	環境課	係	環境保全係	評価票作成者	環境保全担当係長 加藤 徹		
1 - 3 総合計画における施策の体系	節	保健福祉 「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり」				基本施策	感染症対策		コード	2—1—3
						単位施策(中)	動物由来感染症対策		コード	2—1—3—3
	項	健康				単位施策(小)	狂犬病対策		コード	2—1—3—3—1
1 - 4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	犬を飼育している者		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		犬を飼育している者は、狂犬病予防法に基づき登録し、予防接種を毎年行うという法メカニズムを周知することにより、発生リスクや防止の意義を発信することにより、狂犬病の発生を未然防止し、安心な住環境を確保する。				
1 - 5 事務事業の内容	犬を飼育している者は、狂犬病予防法に基づき登録し、予防接種を毎年行う義務があることから、関係機関・獣医師会等と連携をして予防注射を行い接種率の向上を図っていく。									

2 ■事務事業実施の状況

2 - 1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識					
	平成18年度	登録犬の全頭の予防接種の受検確保		犬が海外から移動する機会が多くなっている。		狂犬病に対する認識の低さがある。					
	平成19年度	狂犬病予防注射の集合注射の受検を確保するために、通知書を早期に発送した。		癒しのために、犬を飼育する者の増大傾向にあるが、狂犬病予防接種に対する意識は高まっていない。		〃					
	平成20年度	秋に、今年度未接種の飼い主に対し、注射の案内を再度通知した。		犬を飼いたいと希望する者が増えつつある。		新しく犬を飼おうとする者が、事前に犬の情報を欲している。					
	平成21年度	狂犬病予防注射の集合注射をかつようして、受検率をの高める努力をした。		散歩時のフンの始末など、環境美化に反している。		散歩時のフンの始末など、飼い主のモラルが問われている。					
	平成22年度	集合注射を実施し、予防接種率の向上を図った。									
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
平成27年度											
2 - 2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名			前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明					
	狂犬病予防接種率（％）			80.0（％）	81.0（％）	登録犬のうち予防接種を行った犬の割合を表す指標、全国平均は8 0％（平成1 6年度実績）					
2 - 3 成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）		平成1 8 年度	平成1 9 年度	平成2 0 年度	平成2 1 年度	平成2 2 年度	平成2 3 年度	平成2 4 年度	平成2 5 年度	平成2 6 年度	平成2 7 年度
	活動実績 a（頭）	3,315（頭）	3,494（頭）	3,532（頭）	3,582（頭）	3,538（頭）					
	直接事業費 b（千円）	850	894	1,038	1,842	1,111					
	人件費 c（千円）	67	66	66	73	125					
	合計コスト d（b + c）（千円）	917	960	1,104	1,915	1,236					
	単位コスト d / a（千円）	当たり 0.28	当たり 0.27	1 頭当たり 0.31	1頭当たり0.53	1頭当たり0.34	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明

→ 活動実績…a狂犬病予防注射接種頭数21年度3期保健所報告。b直接事業費…b人件費408000+予防注射済票53550+ふん害看板298200+ふん始末袋220500+印刷124845+はがき代280000+刈払機委託料48150+医師会409000の計1,842,245。c人件費…職員の2人1セトの73140。21年度3期保健所報告登録頭数 4,664頭。 指数対応実績 3582/4664 = 76.8 76.8/81 = 94.8

